

IV 施設分類ごとの基本方針

1. 公共施設(建物)

(1) 行政施設

役場庁舎は施設の老朽化や耐震化未対応であり、災害時の対応等の観点からも、建て替えを検討します。その際に、福祉施設や社会教育施設等との複合化も合わせて検討します。複合化により共有部分（玄関、階段、トイレなど）の延床面積を削減し、更新費用の圧縮を図ります。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
01.行政施設	1,668	25%	1,251

※更新費用は改修費用と建替費用の合計です。(以下同様)

(2) 保健・福祉施設

シルバープラザや子育て支援施設等については、施設の複合化・集約化を検討します。また、老朽化に伴う統廃合については、利用人員を考慮した規模の施設に更新します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
02.保健・福祉施設	1,080	35%	702

(3) 医療施設

医療施設については、総合病院は将来の人口減に伴う病床数の減を考慮し、施設の集約化を検討します。また、熊石国保病院は老朽化も進んでいることから建て替えに合わせて適正規模と熊石歯科診療所の統合について検討します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
03.医療施設	537	45%	295

(4)地域会館

地域会館については、全体的に老朽化している割合が高く、利用率も低下していることから大規模改修が必要となった場合は統廃合を検討します。老朽化の著しい利用されなくなった地域会館については、安全のため解体することとします。

但し、場所によっては地域の避難場所になっている箇所もあるため、統廃合の際には防災上の観点も加味する必要があります。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
04.地域会館	2,804	60%	1,122

(5)町営住宅

町営住宅については、長寿命化計画により整備が進められていますが、入居状況や維持管理コストも加味し、利用者の需要に合わせて戸数を調整するなど延床面積の削減を検討し、それに伴い維持管理費や更新費用の削減を図ります。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
05.町営住宅	7,442	40%	4,465

(6)産業・観光施設

老朽化の著しい施設については、利用状況を考慮して統廃合を検討します。また、利用状況が少ない施設は、民間への委譲若しくは廃止することとします。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
06.産業・観光施設	3,740	30%	2,618

(7)社会教育施設

老朽化の著しい公民館等の施設の複合化・集約化を検討します。また更新が必要な施設については、利用状況に合わせた延床面積の削減を検討します。

施設の活性化を図るため、開館時間等の見直しを検討します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
07.社会教育施設	3,460	30%	2,422

(8)体育施設

住民のニーズ等も考慮し、開館時間や休館日等を見直すことにより施設の活性化、若しくは民間委託等を検討します。また老朽化に伴う施設更新に際しては、延床面積の削減を図ります。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
08.体育施設	1,473	20%	1,178

(9)学校教育施設

学校教育施設は延床面積も大きく、それに比例して維持管理費用や更新費用も多額になることから、児童数に合わせて統廃合による延床面積の削減を検討し、費用削減を図ります。また、防災上の観点から災害時の拠点や避難場所としての役割もあるため、廃校舎の存続方法については転用や民間委譲等、幅広い選択肢の中で検討します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
09.学校教育施設	10,281	45%	5,655

(10)教職員住宅

教職員住宅は、施設の老朽化と利用状況の低下を考慮して住宅の再利用・廃止を検討します。また、老朽化の著しい危険な住宅については、安全性の面から解体します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
10.教職員住宅	2,005	60%	802

(11)消防施設

住民の安全・安心を守るためには必要不可欠な施設であるが、老朽化の著しい施設については集約化を検討します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
11.消防施設	932	15%	792

(12)公園施設

管理棟やトイレなど公園そのものの在り方について見直しの必要がある場合は、その方針に従うものとします。また、老朽化の著しい施設については、統廃合を検討します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
12.公園施設	156	30%	109

(13)環境衛生施設

住民が生活に必要な環境衛生施設であるため、原則は現状維持としますが、施設を建て替える際はその施設の規模を検討します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
13.環境衛生施設	1,542	5%	1,465

(14)その他の施設

所管換えを行った施設については、民間委譲等の活用方法を検討します。また、老朽化の著しい危険な施設については、安全性の面から解体します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
14.その他の施設	2,194	70%	658

(15)公共施設(建物)合計

上記のとおり、施設分類ごとに延床面積を削減することで、建物全体の更新費用合計の削減目標を下記のとおり設定します。

	更新費用 (百万円)	削減目標(%)	削減後の更新費用 (百万円)
公共施設(建物)合計	39,314	40%	23,534

2. インフラ系施設

(1) 道路

道路ストック²³の再整備事業として、改良工事を行った道路等の総点検（路面性状・法面・土工構造物）を行い、今後の維持補修について計画的に実施します。生活道路については安全性を優先し、老朽化の著しい舗装路面の改修工事、改良工事を行います。利用者の安全確保と冬道の安全対策を図ります。歩道整備や未舗装地区の解消や除雪体制の充実を推進します。

(2) 橋梁

原則として、長寿命化計画²⁴に従って維持補修費の縮減を図り、整備・更新を続けていきます。新設や改修については、規模を抑えて整備費用の抑制を図ります。特に修繕に関しては、損傷が軽微な早期段階のうちに予防的な修繕を行う「予防保全型維持管理」を推進します。合わせて、更新費用の集中を避け、平準化を図るため、更新時期については計画的かつ効率的に分散して行っていきます。

(3) 公園

国土交通省より示される「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に基づき適切に点検・診断の実施を進めるとともに、改訂が行われた場合には改訂内容を反映させた基準で実施していくものとします。

(4) 上下水道

水道は「八雲町水道事業ビジョン²⁵」に基づき、安全で良質な水道水を供給し続けていくため、中長期的な維持管理・更新等に係るコストの平準化を図りながら、事業運営を行っていきます。

下水道は「八雲町下水道中期ビジョン²⁶」に基づき、将来の人口減少に伴う中長期的な収支バランスを見通しながら、施設の適正管理、長寿命化及び計画的な更新等を行っていきます。

²³ 道路ストック…これまで整備を行ってきた道路の舗装、照明灯、トンネルなどの道路構造物。

²⁴ 長寿命化計画…平成 25 年 11 月に国土交通省より示されたインフラ長寿命化基本計画に基づき作成された、新設・撤去・更新を含め、将来にわたるインフラのメンテナンスサイクルの構築を目的とした計画。

²⁵ 八雲町水道事業ビジョン…平成 28 年 3 月に策定したビジョン。安全で良質な水道水を安定的に供給するための方策を示したビジョン。

²⁶ 八雲町下水道中期ビジョン…平成 22 年 2 月に策定したビジョン。水環境の保全、安心・安全な生活環境の実現を目指し、施設の適切な管理、健全な経営を目的としたビジョン。